



21西尾

21世紀にける西尾市民会議 〈2021.3.29〉 No.145

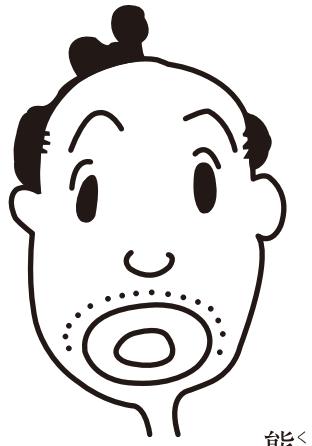


中村くんでは PFI見直しは できない???

No.145

ご覧下さい。ご意見もどうぞのりこのホームページ <http://www.noriko.to/>

のりこ & のりゆきの 辛口議会だより



熊さん

「ご隠居さん!! 3月議会は
大荒れだったぜえ。鈴木
武広議員が『市長はウソ
つきだ。3年半前、PFI
の見直しは難しいから
撤回すると言ったじゃない
か!』とぶちまけたんだ。」

ご隠居

「中村市長が当選して3カ月後の話だね。当時、武広議員は議長だった。」

熊さん

「このころ、中村市長は、当時の副市長らがPFI見直し反対だった上、新しい副市長の選任にも、見直し反対派議員（主に、自民党系の市民クラブ）らの承認が得られず、困っていたらしいね。」

ご隠居

「そう。それで、中村市長は、（浅はかにも）反対派の議員たちにすり寄って、商工会議所の会頭や議長たちの前で『見直し』をやめると言ってしまったのかも知れない。」

熊さん

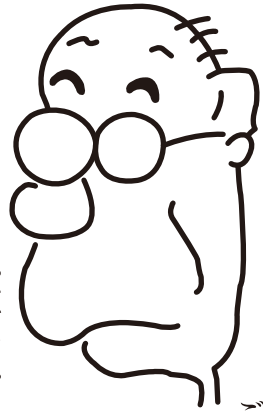
「しかし、中村市長は、公の場で宣言したわけじゃないんだろ。」

ご隠居

「そう。見直し反対派との『密談』でしかないんだろけれど、中村市長の頭の中では、『重石』になっちまってるのかも知れないね。」

熊さん

「だから、中村市長は、PFI見直しの具体的な話になると歯切れが悪かったんだなあ。しかし、昨年の4月からだよ、市長の不可解な行動が始まったのは。」



ご隠居

「『政治的判断』というわけのわからない理由で、市長（自身）も『納得できない』と言う判決に対して控訴せず、市の主張を通さないまま、SPCからの追加要求にドンドン応じてしまった。市民の目で見たら『根拠がない』支払は1億円を超える。」

熊さん

「その頃だろ、また中村市長が財界のお偉方に相談したり、SPCの岩崎社長と密談したりし始めたのは…。」

ご隠居

「市長は、1億円支払ったら、SPCも歩み寄ってくれと期待したようだが、SPCは、次から次へ難しい要求を加えてきたり、裁判を起したりして、とても話し合いなどできない状態だ。」

熊さん

「しかし、それでも中村市長は、根気強く『話し合い』を続けると繰り返すばかりだ。」

ご隠居

「市とSPCとの間の信頼関係がない状況では、いくら話し合いを続けても時間の無駄だし、SPCに対しては、強力に『契約書に則った見直し』を求めなきゃあ、『市民が望む見直し』はできないよ。」

熊さん

「おまけに市長は、増加費用の判決に控訴しなかった頃から市民への説明も報告も殆どしてないじゃないか。」

ご隠居

「そうだね。広報での説明も要領を得ないし、市長自らの具体的な説明はまったくない。」

熊さん

「中村市長は、何か弱みを握られてるんじゃないかねえのか!? 中村くんじゃ、何期やつてもPFI見直しはできないんじゃないかと、みんな言い始めてるぜ。」

* 増加費用の判決：旧一色支所棟の仮囲いに伴う法外な日当5万円の人件費などを容認した判決

「見直し」しなかったら、大変なことになる!!

熊さん 3月議会じゃ、地盤沈下が激しい吉良中学校をどうするんだ…という話が出たね。

ご隠居 そう、PFI推進派の議員は「見直しなどしなければ、今頃、新しい校舎(???)ができていたハズなのにけしからん」というわけだ。

熊さん だけど、SPCの計画は、新築(建替え)じゃなく、たった11億円の予算で「改修」するといっていたはずだよな。

ご隠居 そして、工事を始めた後、躯体や基礎に問題があると判った場合は、一旦停止して、別費用で改めてやり直すという計画だったのさ。

熊さん 前市長は、そんないい加減な契約をしていたのか。俺らなら、最初に、ちゃんと調査するよ! そうだろ、吉良中は50年前の建設。これまで

ご隠居 何度も改修したが、直らなかつたんだからね。元々の契約がお粗末だったのと、SPCが交渉に応じないのが、工事に着手できなかった原因というところかい?

ご隠居 そうだよ。おまけに仮設校舎も設けずに、生徒が勉強している直ぐ隣で工事するという乱暴な計画だった。

熊さん そりやないだろ!! 生徒の安全はどうなるんだ。それに「やり直し」になった口「や、」1億円「がムダになっちゃう。却って高い買い物になりかねない。第一、今どき、外壁をめぐってみな

熊さん きゃわからんなんて、お粗末過ぎるだろ!!」それで「見直し方針」では、PFIから外して、改修を建替え(改築)にしたわけだね。

ご隠居 そうだよ。SPCは、改修で受けておいて、やり直しとなれば、殆ど言い値で改築工事が受けられて、ボロ儲けた。市が、キチンと調査もした上で、80年大丈夫な校舎に改築するよ見直したの、市民のために当然のことだよ。

熊さん 西尾市方式のPFI契約自体、前市長とSPCが、十分に検討せずに、あれもこれもと大急ぎで詰め込んだことで、ボロボロの粗雑すぎる

ご隠居 「欠陥契約」になっちゃったってことかい?.. そう。『見直し』をすべきじゃなかったという議員やSPCは、「見直しをしなかったらもっと大変なことになった」ということかと思いを致すべきだよ。

熊さん 西尾市方式PFIは、「行政改革の推進」に逆行する「バラマキ大判振る舞い政策」だったんだね。

ご隠居 西尾市が豊田ほぐに金持ちなら、10階建ての市営住宅も、温水プールも、将来の市民の負担にならないだろう。だが、公共施設再配置の目的を外れて、どんどん新しいハコを造る西尾市方式PFIは(SPCには、おいしい話だろうが)、大枚叩いて造ったハコが、却って市民

の大きな負担になることも、議員なり、見通せなきやならんだろ。

熊さん ただ「見直しをやめる」というのは、無責任だぜ。特に、市は現在、「コロナ禍で、税収も激減だ。必要最小限のことをやるだけで手一杯だ!

「PFI見直し」は、行財政改革なのだ!!

ご隠居 今こそ、市民にとって本当に必要な事業は何かを考え、優先順位をつけることが重要だよ。

熊さん の言うように、「コロナ禍での減収は続くし、合併後10年経って、国からの合併特例交付税は、もう来ない。

熊さん そうだよなく!!

ご隠居 契約して5年。PFIでの工事も、一部行われただが、直営の工事なら必要ない費用が約1割も余分にかかることがハッキリした。

熊さん それって、西尾市方式の特徴だろ。ツツのPFIは、そんな余分な金はかからないはずだぜ。お前さんの言う通りさ。SPCは、プールや浴場を経営する会社で建設業者じゃない。自分でできないからグループ内の建設会社に発注する。そのために費用が増えるというんだよ。

熊さん 何なんぞえ、そりや。

ご隠居 西尾市方式なんて、要は、仲間内で仕事を回し合っ、他の業者を締め出すやり方さ。直接の契約なら、そんなに経費は嵩まないし、入札だから競争原理が働いて安くなる。

熊さん 今の契約では、どの事業も大枠だけで詳細が何も決まっていないのに、なぜか金額だけが多めに決められている。吉良中が良い例だ。

ご隠居 校舎全体の改修なら、もっと大ごとのはずだろ。具体的な設計がないのに、全体で11億円なんてオカシイぜ。

熊さん その通り。しかも、このまま契約の見直しをしなければ、市は、SPCの言い値をずっと呑むしかない状態だったのさ。

熊さん 吉良交流センターは、すったもんだの末、SPCから買い取った後の改修では、入札で、他の業者が落札、3割以上も安く買った!

ご隠居 「10階建市営住宅」は1戸当り2200万円の計算になる。国の基準の市営住宅の建設費用より、2割も高い。

熊さん その家賃だって、鉄筋コンクリート造だから、相場じゃ5万円以上になるが、入居する人たちはとてもそんなに払えない。建てた瞬間から、市は年間4〜5千万円の赤字だ。

熊さん そんな赤字垂れ流しがわかつたら見直すしかないだろ。市営住宅は、もっと市の身の丈に合ったものにするべきだよ。

ご隠居 そうなんだ。だから、西尾市方式PFIの見直しは、「行財政改革」そのものなのさ。